

「臨床婦人科産科」第 73 巻 総目次

2019 年（第 1 号～第 12 号）

数字は通巻頁数、（ ）は号数

今月の臨床

●エキスパートに学ぶ 女性骨盤底疾患のすべて (1)

〈骨盤底の解剖学〉

手術に必要な外陰部のマクロ解剖学

加藤 友康・加川隆三郎・秋田 恵一…………… 6

骨盤底手術のための内視鏡解剖学

谷村 悟……………14

〈骨盤底臓器の生理機能〉

下部尿路機能と骨盤底

吉澤 剛・高橋 悟……………23

骨盤臓器脱の診療における女性のセクシュアリティと
性機能へのアプローチ

中田 真木……………27

排便機能と骨盤底

江川 雅之・上村 吉穂・田端 敏……………33

東洋医学からみた骨盤底機能—骨盤底機能の疾患に漢
方薬が効く！

蔭山 充……………40

〈疾患各論：骨盤臓器脱〉

骨盤臓器脱の治療方針の立て方

古山 将康……………45

骨盤臓器脱の保存療法

関口 由紀・中村 綾子・重田 美和・

増田 洋子……………52

骨盤臓器脱に対する外科的治療：native tissue repair

岡垣 竜吾……………61

骨盤臓器脱に対する外科的治療：経腔メッシュ手術—
人工物を用いる経腔再建手術と FDA のアラート後
の対応について

木村 俊夫……………67

骨盤臓器脱に対する外科的治療：腹腔鏡下仙骨陰固定
術

吉村 和晃……………74

〈疾患各論：下部尿路症状〉

腹圧性尿失禁の診断と治療

福島 正人・横山 修……………80

過活動膀胱の診断と治療

山西 友典・加賀 勘家・加賀 麻祐子・

布施 美樹・石塚 満……………88

膀胱陰瘻の診断と治療

嘉村 康邦……………98

〈疾患各論：排便障害〉

直腸脱の診断と治療—腹腔鏡下直腸固定術について

小出 欣和・花井 恒一・宇山 一郎

…………… 108

慢性便秘の診断と治療

杉田奈央子・藤原 靖弘…………… 114

便失禁の診断と治療

高尾 良彦・瀧山 亜希・石原聡一郎・

清水 伸幸・菊池 潔…………… 121

直腸陰瘻の診断と治療

古川 聡美…………… 128

〈疾患各論：慢性骨盤痛・外陰痛〉

慢性骨盤痛

小玉美智子・木村 正…………… 136

慢性骨盤痛に対する漢方治療

塩田 敦子…………… 144

●NIPT新時代の幕開け—検査の実際と将来展望 (2)

〈NIPT の基礎〉

NIPT の原理と対象疾患拡大のあゆみ

左合 治彦…………… 186

欧米では NIPT はどの程度普及しているか？

和泉美希子・関沢 明彦…………… 194

〈NIPT の現状〉

日本での NIPT 臨床研究ではどのような成果が得られ
たか？

佐村 修…………… 199

国内で提供されている NIPT の検査法の特徴と差異
は？

栗城 紘子・浜之上はるか…………… 206

双胎妊娠に対する NIPT の適応と限界は？

鈴森 伸宏・武田 恵利…………… 217

NIPT で予期しない結果となる原因は何か？

澤井 英明…………… 222

NIPT 検査実施に際しての遺伝カウンセリングの留意
点は？

西山 深雪…………… 228

〈NIPT の将来展望〉

NIPT の対象として母体年齢による制限は必要か？

山田 崇弘	237
母体血漿中 cell-free DNA で検出できる胎児の単一遺伝子疾患	
室月 淳	244
NIPT で性染色体数異常は検出できるか？	
三浦 清徳・三浦 生子・増崎 英明	253
全ゲノム NIPT ではどこまで胎児異常が検索できるか？	
福島 明宗・小畑 慶子・山本佳世乃	258
●いまさら聞けない 体外受精法と胚培養の基礎知識 (3)	
胚培養の基礎と正常胚発生	
柳田 薫・圓成寺真見・柿沼 敏行	302
体外受精と顕微授精の基礎知識	
原田 竜也	310
〈良い胚をどうやって選ぶか〉	
受精の異常	
米本 昌平・田中 温・渡邊 誠二・大野 基晴・市山 卓彦・山口 貴史・永吉 基	317
良好分割胚とは一卵子と day4 までの異常発生と胚評価 (sERC を含めて)	
大月 純子	325
良好胚盤胞とは	
沖津 摂	331
タイムラプスシネマトグラフィーを用いたヒト初期胚発生過程の動的解析	
中岡実乃里・見尾 保幸	336
〈胚培養の実際〉	
採卵・胚移植と予定日	
梶原 健・府藤 藍・佐藤 麻弥	345
長期培養は安全か？	
京野 廣一・菊池 卓・橋本 朋子	350
胚培養液の進歩	
宇津宮隆史	356
未熟卵が採卵された場合にどうするか？	
河村 寿宏・竹村 由里・片瀬世莉那	365
〈トピックス〉	
良好胚なのになぜ着床しないのか？	
太田 志代・中岡 義晴	373
多嚢胞性卵巣症候群に対する IVM	
福田 愛作	382

●産婦人科救急・当直対応マニュアル (4・増刊号)	
〈Ⅰ. 救急外来・当直に備えた心構え〉	
救急外来からのコールに慌てずに対応するコツ	
谷垣 伸治・野口 健朗・對馬 可菜・松島 実穂・松澤由記子	6
当直で焦らない周術期管理のポイント	
笠松 由佳・武隈 宗孝	12
分娩当直での心得	
遠藤 誠之	16
母体搬送をする・受ける際のポイント	
金川 武司・光田 信明	20
〈Ⅱ. 婦人科編〉	
・症状・所見からみた疾患鑑別と病態把握	
救急外来：不正性器出血が主訴のとき	
蝦名 康彦	26
救急外来：下腹部痛を主訴とする患者がコンサルトされたとき	
岩井 加奈・小林 浩	32
救急外来：卵巣に腫大・腫瘍がみられる患者がコンサルトされたとき	
本橋 卓・田畑 務	37
救急外来：更年期障害が疑われてコンサルトされたとき	
後山 尚久	42
入院患者の急変：意識障害	
伊東 史学・杉浦 敦・喜多 恒和	46
入院患者の急変：発熱	
三木 通保・藤原 潔	50
入院患者の急変：呼吸・循環障害	
竹村 昌彦	57
入院患者の急変：術後出血	
平川 八大・二神 真行・横山 良仁	61
・救急/時間外での対応法	
機能性子宮出血	
升田 博隆	66
卵巣出血	
齊藤 亜子・西井 修	71
卵管妊娠破裂/頸管妊娠出血	
伊東 宏絵	75
卵巣腫瘍茎捻転	
明樂 重夫	80
卵巣チョコレート嚢胞破裂	
河野 康志・青柳 陽子・檜原 久司	84
卵巣過剰刺激症候群	
木田 尚子・中尾 朋子・岡田 英孝	

.....	89		186
腔異物/性器外傷・出血		妊娠中期以降の性器出血	
中林 章.....	92	小野 義久.....	194
緊急避妊		・周産期救急疾患への初期対応	
久具 宏司.....	96	切迫早産/早産	
性暴力被害		大槻 克文.....	198
宮国 泰香・安達 知子.....	101	警告出血を伴う前置胎盤	
・術後合併症への対応法		古谷 菜摘・長谷川潤一・鈴木 直	
深部静脈血栓症/肺塞栓症			203
藤阪 智弘・星賀 正明.....	106	常位胎盤早期剥離	
消化管穿孔		進藤 亮輔・青木 茂	
長尾 昌二.....	113		207
敗血症		HELLP 症候群/急性妊娠脂肪肝	
嶋田 知紗・藤堂 幸治.....	117	大井手志保・王 良誠・高木健次郎	
重症薬疹			212
澄川 靖之・宇原 久.....	124	周産期心筋症	
イレウス/腸閉塞		松村 英祥.....	219
田中慶太郎・藤原 聡枝・大道 正英		劇症型 A 群 β 溶血性レンサ球菌感染症	
.....	128	田丸 俊輔.....	226
術後の泌尿器合併症：尿路損傷		・分娩当直での緊急対応	
船内 雅史・小林 栄仁・上田 豊・		肩甲難産	
木村 正.....	132	小川 正樹.....	230
せん妄		臍帯下垂・脱出	
近江 翼・池田 学.....	138	仲村 将光.....	235
コンパートメント症候群		羊水塞栓症	
高橋 伸卓・平嶋 泰之.....	144	小田 智昭・伊東 宏晃・金山 尚裕	
・オンコロジック・エマージェンシーへの対応法			239
発熱性好中球減少症		子宮破裂	
伊藤 亮治・勝俣 範之.....	148	牧野真太郎.....	247
間質性肺炎		産褥血腫	
少路 誠一.....	152	新垣 達也・関沢 明彦.....	252
腫瘍崩壊症候群		子宮内反症	
緒方 美里・松本 光史.....	157	鈴木 研資・入山 高行.....	257
腫瘍による脊髄圧迫		分娩時の大量出血/弛緩出血	
山本 和宏.....	161	堤 誠司.....	261
〈Ⅲ. 産科編〉		産科 DIC	
・妊婦の症状からみた疾患鑑別		末光 徳匡・鈴木 真.....	265
神経系の症状：頭痛・めまい・意識障害		・妊産褥婦の合併疾患への対処法	
桑田 知之.....	168	・呼吸器疾患 喘息発作	
呼吸器系の症状：呼吸困難・息切れ		久野 道.....	272
加地 剛.....	173	・循環器疾患 高血圧/高血圧性脳症	
循環器系の症状：胸痛・動悸・息切れ		森川 守.....	277
神谷千津子.....	176	・循環器疾患 妊産婦脳卒中	
消化器系の症状：腹痛・下痢・下血・嘔吐		大野 泰正.....	282
石原 佳奈・田中 幹二・大石 舞香		・消化器疾患 食中毒	
.....	180	松岡 隆・関沢 明彦.....	288
妊娠初期の性器出血		・消化器疾患 急性虫垂炎/急性胆嚢炎	
野田 佳照・関谷 隆夫		田中 利隆.....	295

・腎・泌尿器疾患 尿路結石		妊婦の CIN の自然経過と対応	
金井 雄二	302	田中 良道	458
・内分泌・自己免疫疾患 糖尿病性ケトアシドーシス		妊婦に対する子宮頸部円錐切除術の適応	
和栗 雅子	306	井平 圭・森川 守・渡利 英道	
・内分泌・自己免疫疾患 甲状腺クリーゼ			463
脇野 修	310	妊婦の子宮頸がんの治療・管理	
・内分泌・自己免疫疾患 SLE の増悪		三上 幹男	468
城戸 咲・加藤 聖子	318	妊娠中に広汎子宮頸部摘出術を行う場合の留意点	
・血液疾患 血小板減少症		西川 伸道	474
宮川 義隆	324	妊婦の卵巣がんの管理	
・精神疾患 希死念慮（自殺未遂）		秋山 梓	480
畠中 健吾・上條 吉人	328	妊婦の乳がんの管理	
・その他 てんかん		佐々木 浩	487
赤松 直樹	332	●多胎管理のここがポイント—TTTSとその周辺（6）	
・その他 脱水症/熱中症		〈TTTS〉	
三宅 康史	336	診断基準とリスク因子	
・その他 外傷/交通外傷		村越 毅	518
細川 義彦・小畠 真奈	341	胎児鏡下レーザー凝固術（FLP）の適応と手法	
〈Ⅳ．蘇生法・救急対処法〉		小澤 克典・室本 仁・杉林 里佳・	
成人・妊婦の心肺蘇生法		和田 誠司・左合 治彦	527
野口 翔平	348	胎児鏡下レーザー凝固術（FLP）の術後合併症と周産	
新生児の心肺蘇生法		期予後	
細野 茂春	355	中田 雅彦・長崎 澄人・鷹野真由実	535
死戦期帝王切開		〈TTTS 類縁疾患の診断と管理〉	
鈴木 俊治	360	selective IUGR	
アナフィラキシーショックへの対応法		和田 誠司・室本 仁・杉林 里佳・	
土肥 聡	363	小澤 克典・左合 治彦	540
救急に必要な薬剤		双胎貧血多血症（TAPS）	
山下 公子・成瀬 勝彦	368	田丸 俊輔	547
●妊婦の腫瘍性疾患の管理—見つけたらどう対応する		双胎間羊水不均衡（TAFD）	
か（5）		杉林 里佳・室本 仁・小澤 克典・	
〈総論〉		和田 誠司・左合 治彦	552
妊婦に腫瘍性疾患を見つけたらどう対応するか		無心体双胎（TRAP sequence）	
藤田 太輔・大道 正英	418	利光 正岳・室月 淳	557
〈良性疾患〉		双胎一児死亡における生存児の予後とその管理	
妊婦の成熟嚢胞奇形腫の管理		杉原 弥香・下屋浩一郎	562
金川 武司	425	〈稀な多胎妊娠〉	
妊婦の内膜症性嚢胞の管理		双胎一児前期破水	
池田さやか・上田 豊・木村 正		炭谷 崇義・谷村 悟・中島 正雄	
	432		568
子宮筋腫合併妊娠		supertwin の管理	
梶山 広明	436	川口 晴菜	574
妊婦に良性卵巣腫瘍手術を行う場合の留意点		〈膜性に応じた対応〉	
倉品 隆平・可世木華子・明樂 重夫		膜性による先天異常の発症率の違い	
	442	住江 正大	580
〈悪性疾患〉		MM 双胎の管理	
妊婦に対する化学療法		亀井 良政	585
境 秀樹・松本 光史	449		

●卵巣刺激・排卵誘発のすべて—どんな症例に、どのように行うのか(7)

〈新規排卵誘発薬とモニタリング法〉

自己注射が可能な rec hCG で何が変わるか？

塩谷 雅英・岸 加奈子・松本由紀子・
若口 昭次…………… 618

3D 卵胞容積計測の進歩

岡本 純英…………… 625

〈無排卵・機能性不妊に対する卵巣刺激〉

Kaufmann 療法

岸 裕司…………… 631

クロミフェン・メトホルミン

高橋 俊文…………… 637

低用量漸増法

岩佐 武・松崎 利也・苛原 稔
…………… 644

機能性不妊症に対する卵巣刺激の臨床的意義

北原 慈和・岩瀬 明…………… 650

〈体外受精における卵巣刺激〉

完全自然周期法・CC 単独法

伊藤 正典・加藤 恵一…………… 655

CC-hMG/recFSH 法

渡邊 建一郎・桑原 慶充・竹下 俊行
…………… 665

long 法・short 法

銘苅 桂子…………… 670

antagonist 法

吉田 淳…………… 674

AMH を用いた卵巣刺激の個別化

浅田 義正…………… 680

ART 卵巣刺激における日程調整法

浮田 祐司・浮田 美里・柴原 浩章
…………… 687

●産婦人科で漢方を使いこなす！—漢方診療の新しい潮流をふまえて(8)

〈今の時代の漢方診療〉

最近の漢方診療—診察から薬剤選択まで

大澤 稔…………… 718

科学的エビデンスに基づく漢方薬の作用メカニズムの
解明—六君子湯、半夏瀉心湯、大建中湯を中心に

上園 保仁・宮野加奈子…………… 728

医療経済における漢方薬の役割

康永 秀生…………… 735

〈それぞれの場面での使い方〉

思春期・性成熟期と漢方薬

小川真里子・高松 潔…………… 740

生殖領域と漢方薬（不妊・不育症）

永松 健…………… 747

産科と漢方薬

岡村 麻子・長田 佳世・加藤 士郎

…………… 754

更年期と漢方薬

寺内 公一…………… 763

女性のメンタルヘルスケアと漢方薬

安井 敏之・松浦 幸恵…………… 772

不定愁訴と漢方薬

武田 卓…………… 780

術後管理と漢方薬

田中 良道…………… 786

がん支持療法と漢方薬

西田 欣広…………… 792

健康寿命の延伸に向けての漢方医学の役割について

斎藤 仁美・梶本 勝文・萩原 圭祐
…………… 798

●産科危機的出血のベストマネジメント—知っておくべき最新の対応策(9)

〈出血への予防〉

妊婦における自己血貯血の留意点

久保 隆彦…………… 826

予防的 IVR の適応と種類、合併症

ウッドハムス 玲子…………… 831

〈緊急対処法〉

フィブリノゲン療法の実態と現状

関 博之…………… 840

産科危機的出血に対する緊急 IVR の適応と合併症

宇賀 麻由・平木 隆夫・金澤 右
…………… 846

バクリカテテル挿入のコツ

鷹野 夏子・梶原 健・増田 怜良・
亀井 良政…………… 854

外科的治療の工夫—子宮圧迫縫合糸の開発と子宮全摘
の工夫

原 武也・松崎 慎哉・木村 正
…………… 861

〈疾患別対処法〉

前置癒着胎盤に対する IABO（大動脈内バルーン閉塞
術）の適応と効果

神山 孝憲・田辺瀬良美…………… 868

羊水塞栓症の診断と治療

田村 直顕…………… 874

仮性動脈瘤の成因と治療

田丸 俊輔・霞澤 匠…………… 880

妊婦における劇症型 GAS 感染症の症状と対策

市川 大介・左 勝則・亀井 良政
…………… 885

〈母体救命のためのガイドラインと研修システム〉 産科危機的出血への対応指針 2017 における変更点 稲田 英一…………… 892	〈長期予後・遠隔期合併症〉 子宮筋腫治療後の転移・再発 牛嶋 公生……………1017
日本 ACLS 協会の各種コースの紹介—BLS, ACLS, PALS など 山本 憲康・境田 康二…………… 898	筋腫核出後妊娠の注意点 牧野真太郎……………1022
日本母体救命システム普及協議会 (J-CIMELS) の設立までの経緯と現状 三宅 康史…………… 907	嵌頓子宮と帝王切開—子宮筋腫の稀な合併症 関 博之……………1028
●進化する子宮筋腫診療—診断から最新治療・合併症まで (10)	●基本手術手技の習得・指導ガイダンス—専攻医修了要件をどのように満たすか? (11)
〈病因論〉 子宮筋腫の病因—遺伝子異常の観点から 丸山 哲夫…………… 934	〈全般〉 研修プログラムの組み立て方と 3 年間の学び方 佐藤 豊実……………1050
子宮筋腫の進展因子 杉野 法広・佐藤 俊・前川 亮 …………… 941	救急対応の教え方・学び方—出血への対応, 異所性妊娠, 茎捻転などを含めて 藤田 太輔・大道 正英……………1058
〈画像診断〉 画像による変性筋腫と肉腫の鑑別診断 高濱 潤子…………… 951	〈産科手術関連手技〉 器械分娩: 吸引分娩, 鉗子分娩 山本 祐華……………1065
〈薬物療法〉 漢方, GnRH 製剤の使い方—経口剤レルゴリクスを含めて 大須賀 穰…………… 959	通常の帝王切開術 杉山 隆……………1070
ウリプリスタールの作用機序と使い方 伊藤 文武・北脇 城…………… 966	前置胎盤・常位胎盤早期剝離症例への帝王切開術 金川 武司・松崎 慎哉……………1075
〈塞栓療法・焼灼療法〉 UAE の実際 澤田健二郎・山本 実咲・木村 正 …………… 972	子宮内容除去術 西郡 秀和……………1083
MR ガイド下集束超音波治療の実際 石田 友彦・阿部 一也・都築まどか …………… 982	〈産婦人科の基本手術〉 開腹・閉腹・ドレーン設置術 田中 良道……………1090
子宮内膜アブレーションと子宮内黄体ホルモン放出システムによる過多月経治療 谷口 文紀・原田 省…………… 990	単純子宮全摘出術: 開腹 太田 剛……………1095
〈手術手技のポイントと留意点〉 子宮筋腫による不妊機序と子宮筋腫核出術の適応 熊切 順…………… 995	腔式手術: 子宮頸管縫縮術・円錐切除術・腔式子宮全摘出術 岩崎 雅宏・郷久 晴朗・齋藤 豪 ……………1101
内視鏡手術のコツと合併症—出血, 縫合不全, 仮性動脈瘤など 安藤 正明・柳井しおり・白根 晃・菅野 潔・坂手慎太郎……………1001	〈婦人科悪性腫瘍の手術 (助手の仕方)〉 婦人科悪性腫瘍に対する開腹手術: 腹式広汎子宮全摘出術の助手の仕方 田畑 務……………1108
《コラム》内視鏡下巨大筋腫核出の限界と筋腫回収法 土屋 雄彦・森田 峰人……………1008	〈婦人科良性腫瘍の腹腔鏡下手術〉 腹腔鏡手術の基本手技の習得 出浦伊万里……………1115
子宮鏡下手術とその合併症 村上 節・木村 文則・辻 俊一郎 ……………1012	腹腔鏡下卵巣囊腫 (囊胞) 摘出術・付属器摘出 熊切 順……………1123
	腹腔鏡下筋腫核出術 土屋 雄彦・森田 峰人……………1129
	腹腔鏡下子宮全摘術 羽田 智則・安藤 正明……………1135
	〈生殖医療関連手技〉 子宮卵管造影, 子宮鏡, 採卵・胚移植

高橋 俊文	1144
●産婦人科領域で話題の新技术—時代の潮流に乗り遅れないための羅針盤 (12)	
〈Part1：遠隔医療の現状〉	
遠隔医療の現状と今後の対応	
中野 義宏	1166
オンライン診療産婦人科における問題点	
浅川 恭行	1172
モバイル胎児モニター（プチ CTG）による遠隔胎児診断	
原 量宏	1179
〈Part2：注目の最新技術【周産期】〉	
胎児生体電気信号心拍数モニタリングシステムを用いた胎児不整脈診断	
川瀧 元良・杉林 里佳 木村 芳孝	1188
胎児異常におけるエクソーム解析	
長谷川冬雪・西山 深雪・秦 健一郎・左合 治彦	1199
LAMP 法によるウレアプラズマの迅速な検出法の開発	
不破一将・早川 智	1207
〈Part2：注目の最新技術【生殖医療】〉	
経口 GnRH アンタゴニストによる子宮筋腫治療	
石原 理・梶原 健・岡垣 竜吾	1213
多嚢胞性卵巣におけるアロマターゼ阻害薬レトロゾールによる排卵誘発	
左 勝則	1217
〈Part2：注目の最新技術【腫瘍】〉	
マイクロ RNA 測定技術を用いた卵巣がんの早期診断	
横井 暁・落谷 孝広	1222
オンコパネルを用いたがん個別化治療の現状と展望	
織田 克利	1228
新規腫瘍マーカー HE4 と ROMA による卵巣がん診断	
永石 匡司	1235
〈Part2：注目の最新技術【女性医学】〉	
閉経関連泌尿生殖器症候群に対する腔のレーザー治療	
中田 真木	1242

原著

初回治療として根治的放射線療法を施行した子宮体癌 13 例の検討	
北見 和久・鈴木 邦昭・山田友梨花・尾瀬 武志・窪川 芽衣・嶋谷 拓真・植草 良輔・國島 温志・甲木 聡・長尾有佳里・藤田 啓・矢吹 淳司	

河合 要介・梅村 康太・岡田真由美・山田 剛大・石原 俊一・河井 通泰	173 (1)
当院で施行した妊娠中の付属器腫瘍手術の検討	
松林 彩・高石 侑・岡本葉留子・奥立みなみ・松岡 秀樹・門元 辰樹・増田 望穂・柳川 真澄・山添紗恵子・中北 麦・崎山 明香・林信 孝・小山瑠梨子・大竹 紀子・富田 裕之・上松 和彦・川崎 薫・青木 卓哉・吉岡 信也	605 (6)
腹腔鏡下子宮筋腫核出術の安全性を担保するための最適な筋腫個数に関する検討	
森嶋かほる・原口 広史・高村 将司・金谷真由子・平野 茉来・秋山 育美・能瀬さやか・原田美由紀・平田 哲也・廣田 泰・甲賀かをり・平池 修・大須賀 穰・藤井 知行	701 (7)
月経前症候群症状日誌 Daily Record of Severity of Problems (DRSP) に対する言語性妥当性を検証した日本語版作成	
武田 卓・椎名 昌美・山田 恵子	807 (8)
子宮頸がん根治手術後の QOL (quality of life) / PRO (patient-oriented outcome) の評価	
原 亜紀・足立 克之・鈴木由梨奈・古川 正義・宮坂 亜希・宮本 真豪・福田 友彦・三村 貴志・堀江 弘二・横田 治重	917 (9)

症例

妊娠 19 週の腹腔妊娠において、造影 CT および MRI 検査が胎盤の評価に有用であった 1 例	
安部真希子・木村 博昭・廣岡 千草・春成 淳平・河原井麗正・太田 正志・井上 泰・平敷好一郎	279 (2)
成人の Nuck 管水腫内に再発した卵巣粘液性境界悪性腫瘍の 1 例	
竹内 正久・井上 貴史・大川 彦宏・中村 聡・卜部 省悟・板東登志雄	285 (2)
23 年の長期経過後に Growing teratoma syndrome と推定された 1 症例	
山尾 佳穂・棚瀬 康仁・新納恵美子・植田 陽子・橋口 康弘・杉本澄美玲・岩井 加奈・森岡佐知子・山田 有紀・川口 龍二・佐道 俊幸・小林 浩	399 (3)

腹腔鏡下手術後に診断された嚢胞性顆粒膜細胞腫の1例

登村 信之・近田 恵里・三村 裕美・
小菊 愛・森上 聡子・佐原裕美子・
川北かおり・佐本 崇・橋本 公夫・
嘉納 萌・吉田 茂樹・竹内 康人
..... 501 (5)

神経内分泌腫瘍成分を伴う子宮頸部癌肉腫の1例

森田奈津子・田中 智人・芦原 敬允・
大道 正英..... 813 (8)

9年後に肺転移をきたした子宮腺肉腫の1例

比嘉 莉沙・中村 俊昭・川畑 宣代・
末吉 和宣・波多江正紀・上塘 正人
..... 923 (9)

肺炎球菌による卵管卵巣膿瘍の1例

齋藤 強太・沼田 雅裕・有波 良成・
大野 正文..... 1261 (12)

FOCUS

卵巣癌実地臨床に導入されたPARP阻害薬

千代田達幸・同前 愛・早乙女啓子・
青木 大輔..... 152 (1)

新たに保険適用となった内視鏡悪性腫瘍手術の適応と展望

馬場 長・堀江 昭史・安彦 郁・
伊藤 美幸・佐藤 誠也・尾上 洋樹・
村上 隆介・濱西 潤三・近藤 英治・
利部 正裕・板持 広明・万代 昌紀
..... 262 (2)

母体血を用いた胎児の遺伝子診断—胎児染色体異常数性以外を対象とした検査を中心に

山田 崇弘..... 494 (5)

妊娠糖尿病における管理の世界的潮流

森川 守..... 592 (6)

子宮体がんにおける腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清

寺井 義人・田中 智人・大道 正英
..... 1253 (12)

教訓的症例から学ぶ

産婦人科診療のピットフォール

進行外陰がんに対する内陰部動脈からの術前動注化学療法は有用か？

水野 公雄..... 164 (1)

腹腔鏡下卵巣成熟嚢胞性奇形腫核出術の施行時に大網腫瘍を認め消化管外アニサキス症と診断しえた1例

長尾 賢治..... 268 (2)

異所性妊娠が疑われたが診断確定が遅れた2例

伊藤 理廣..... 391 (3)

横隔膜下に着床し診断に苦慮した原発性腹膜妊娠の1例

高木 七奈・川端 俊一・柴田 金光
..... 598 (6)

2回目の月経で緊急手術となった若年女性の非交通性副角子宮症例

五十嵐なつみ・福田 淳・高橋 道
..... 693 (7)

腹腔鏡下子宮全摘術後に発生した遅発性膀胱損傷から偽性腎不全を呈した症例

脇ノ上史朗..... 1037 (10)

妊娠中に自然気胸を繰り返し、家族歴からBHD症候群が疑われた1例

藤原葉一郎・坪内万祐子・田中 伸岳
..... 1248 (12)

Obstetric News (武久 徹)

誘発分娩を考える (2) — ARRIVE 試験に対する米国産婦人科学会と米国周産期医学会共同声明

..... 171 (1)

誘発分娩を考える (3) — 妊娠41週を超えた場合

(Cochrane Database) 274 (2)

誘発分娩を考える (4) — 陣痛誘発と産科合併症

..... 396 (3)

誘発分娩を考える (5) — 陣痛誘発方法

..... 498 (5)

誘発分娩を考える (6) — 陣痛誘発方法②

..... 603 (6)

誘発分娩を考える (7) — 潜伏期

..... 698 (7)

誘発分娩を考える (8) — 難産

..... 804 (8)

緊急避妊 (1) — 新しい時代

..... 914 (9)

緊急避妊 (2) — その種類と肥満女性における効果

..... 1034 (10)

満期単胎骨盤位分娩

..... 1153 (11)

子宮収縮抑制薬

..... 1258 (12)

Estrogen Series (矢沢珪二郎)

米国家庭の苦しい台所—ハワイ州ACSの場合

..... 170 (1)

米国におけるテストステロン処方の増減

..... 276 (2)

米国の自動車番号

..... 398 (3)

ハワイ大学学生

..... 500 (5)

エストロゲンと血栓

..... 699 (7)

学生の睡眠時間

..... 806 (8)

高用量ビタミンDと骨粗鬆症

..... 915 (9)

貧困女性と生理用品

..... 1036 (10)